

ご挨拶

校長 葦澤 滋一

この度は、岩内東小学校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

本校の創立は、明治7年4月、三島町・智恵光寺の一間を借り教育所を開設したことに始まります。明治27年には岩内尋常高等小学校と改称し、明治37年には男子1,136人、女子913人の規模に。昭和20年3月には70周年記念式典を開催し、昭和22年4月に岩内東小学校と改称。昭和46年新校舎に移転し、平成26年には開校140周年を迎えると共に岩内中央小学校の閉校に伴う統廃合を行いました。そして昨年度開校150周年を迎え、今年度は151年の長い歴史に幕を閉じ、令和8年度の町内小中学校4校を統合する義務教育学校「岩内中央学園」開校へ向かっています。

本校の学校教育目標は、「明るく伸びる子」であり、

①考える子（知）、②助け合う子（徳）、③やりぬく子（徳）、じょうぶな子（体）の育成を目指しています。

本年度は、学校経営の重点を『「なりたい」を支える学校～成長・感謝・希望～』としました。これからの子どもたちが生きていく社会は、予測困難な時代と言われます。少子高齢化、地球温暖化など解決が難しい課題がありますが、一方でグローバル化は進み、目覚ましい技術革新、価値観（幸せ）の多様化など今後に大きな期待ができるものもあります。その時代を生きる子どもたちには、多様な価値を認め、尊重し、支え合いながら、より良い社会の担い手となり、自分の「なりたい」を実現させていくのです。そのために、主体性や協働性を育てていく必要があります。

私たち教職員は、その子どもたちの「なりたい」を大切にし、自己実現できるよう支えてまいります。そして1年後の義務教育学校開校に向けて、夢と希望を抱いて進むことができるよう、何より東小でよかった、東小が大好きと子どもが感じられるよう取り組んでまいります。

令和7年度は、児童218名、教職員27名でスタートしました。本年度も保護者・地域の皆様、関係機関の皆様に本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。